資料3

各取組項目の実施状況（太田川水系大規模氾濫時の減災対策協議会）

○：順次実施中　●：完了　△：検討中

朱書きは、R4出水期前時点からの変更部分

	取組番号	主な取組項目	広島市								府中町	安芸太田町	広島県	広島地方気象台	中国地整	国土地理院
			中区	東区	南区	西区	安佐南区	安佐北区	安芸区	佐伯区						
①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組																
■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策																
	1	堤防整備（浸透対策、パイピング対策、流下能力対策）													○	
	2	高潮整備													○	
■ 避難行動・水防活動に資する基盤等の整備																
	3	洪水に対しリスクの高い箇所を監視する危機管理型水位計の整備													●	
	4	洪水に対しリスクの高い箇所を監視する河川監視用カメラ等の整備													●	
	5	河川のリアルタイム映像の提供設備の検討	○	○	○	○	○	○	○	○					●	
	6	SNS を活用した防災情報の共有	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
	7	行政機関の災害対応力向上のための地理空間情報の提供及び技術支援														○
■ 洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等																
	8	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図の作成・公表													●	
	9	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△				
	10	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難情報の発令基準の見直し	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△				
	11	各市町が管理する避難所の収容人数等を共有し、隣接市町村との連絡体制の構築	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△				
	12	指定緊急避難場所及び浸水時緊急退避施設の確保	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△			△	
	13	まるごとまちごとハザードマップの検討・整備	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		△	
■ 多様な防災行動を含むタイムラインの作成																
	14	河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス 道路管理者等と連携したタイムラインの策定に着手	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	15	太田川水防災タイムラインの見直し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	16	リアリティのある水防訓練の実施	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
	17	マイタイムライン等の作成促進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○
■ 防災教育や防災知識の普及																
	18	堤防決壊時、越水時の流水の破壊力に関するイメージ動画の作成・公開													●	
	19	「川の防災情報」や地上デジタル放送の活用促進のための周知													○	
	20	出前講座等を活用した防災教育の推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
	21	気象情報発信時の「危険度色分け」や「警報級の現象」等の改善												●		
	22	防災気象情報の改善												○		
	23	スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信													○	
	24	住民向けの防災ポータルサイトの構築	●	●	●	●	●	●	●	●						
	25	住民の避難行動を支援するきめこまやかな防災情報の提供	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	26	効果的な普及、災害支援のための地理空間情報ツール作成検討														○
	27	水害リスクラインを活用した水位予測及び洪水予報等の情報発信													○	
	28	マスメディアと連携した情報発信													○	
	29	自主防災組織の育成や活動支援、連携強化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
②地域別の氾濫特性に応じた効果的な水防活動																
■ 避難行動・水防活動に資する基盤等の整備																
	30	洪水に対しリスクの高い箇所を監視する危機管理型水位計の整備(再掲)													●	
	31	洪水に対しリスクの高い箇所を監視する河川監視用カメラ等の整備(再掲)													●	
	32	河川のリアルタイム映像の提供設備の検討(再掲)	○	○	○	○	○	○	○	○					●	
	33	SNS を活用した防災情報の共有(再掲)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
	34	行政機関の災害対応力向上のための地理空間情報の提供及び技術支援(再掲)														○
	35	防災拠点の中心となる庁舎等の代替施設の検討	△			△	△					△			●	
■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化																
	36	水防管理者等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
	37	SNS を活用した防災情報の共有(再掲)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
	38	重要水防箇所等、洪水に対しリスクが高い区間について水防管理者や地域住民が参加する合同点検の実施	○	○	○	○	○	○		○		○			○	
	39	リアリティのある水防訓練の実施(再掲)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
	40	備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
③浸水を一日も早く解消するための排水対策																
■ 排水計画の作成及び排水訓練の実施																
	41	排水施設の情報共有、排水手法の検討を踏まえた排水計画の作成									●				●	
	42	排水計画に基づく排水訓練の実施									○				○	
	43	樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保											△		○	
④洪水調節施設等の効果的・効率的な運用																
■ 洪水調節施設等の効果的・効率的な運用																
	44	事前放流及び特別防災操作(適応操作)を的確に実施し、下流河川の被害を軽減するため、流入量予測の精度向上等により更なる効率的な運用を実施													○	
	45	治水協定に基づいたダム管理者との連携及び統一的な運用													○	